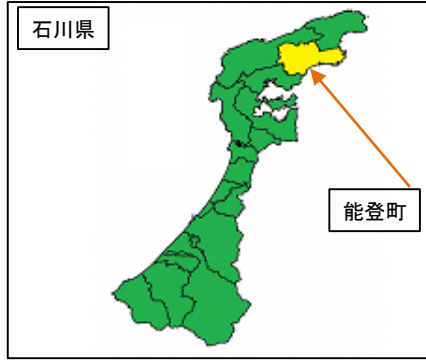


# 当日棚田集落協定（石川県鳳珠郡能登町）

○ 集落で地域の将来像を話し合い、棚田地域振興法制定を契機に集落協定を広域化し、将来の集落維持に向けた6次産業化やブランド化による地域所得の確保や都市農村交流を展開。

協定面積:田 15.6ha(急傾斜:15.6ha) 交付金額:516万円  
協定参加者:農業者32名、農業法人4 協定開始:令和2年度



## 地域の現状

- 当集落協定地区は、奥能登の中心に位置する中山間地域で昼夜の寒暖差が大きく、奥能登の主要3河川の源流地。山間地で広い耕地がなく、いくつもの谷筋深くに棚田が形成されている。
- 集落の過疎化・高齢化による担い手不足が進む中、耕作放棄地の発生防止のため、平成12年度から本制度を実施。平成27年度から5年間かけて集落で話し合い、当日地域の将来ビジョンを作成。令和2年度の棚田地域振興法による指定棚田地域振興活動計画認定を契機に、各集落毎に本制度に取り組んでいた5集落が広域協定を締結。
- 集落内の廃校施設を利用した「里山稲作農林資料館」を拠点に農村学習や農村体験、水生生物観察会を実施し、環境保全の活動に取り組む。



【協定農用地】



【里山稲作農林資料館の水生生物学習展示】

## 取組の概要

- 広域協定を締結し、交付金事務担当を確保して取組体制の強化を図り、農業生産活動等を維持するための体制を構築。本制度の加算措置を活用し、新規就農者の確保による集落機能強化、6次産業化を主導する人材確保に取り組む。
- 減農薬と水にこだわった棚田米「当日の米」や、この米を使った伝統保存食「なれずし」を「のと里山海道」のサービスエリア等の直売所販売等により、地域所得が向上。「当日の米」の定期購入者を当日地区の「特別住民」として認定し、山菜等の配送や、来訪時の地区案内、「よばれ御膳」によるもてなし等により、地域の魅力を発信。生き物観察会を実施するなど、交流人口増加に取り組む。
- 農村地域の未来の応援者となる県内大学生の農業・農村体験や、県外大学生の現地研究合宿を受入れ。コロナ禍の令和2年度は、地域課題の現状把握や打開策についてオンラインによる報告会を実施。



【当日の米】



【なれずし】



【オンライン報告会】

